

R7年度の取り組みについての評価・感想まとめ

R8年3月5日（木）職員会議にて

今年度の園目標である『連携・互いの保育を認め合う組織作り』から、【保育を語る機会を作る】を行ってきました。

① 保育…保育目標についてみんなで考える

- 1、職員が考えた保育目標の経緯に触れる（6月保育会議）
- 2、KJ法でグループワーク（7月グループ会）
（保育目標に向かって取り組んでいること・子どもたちの姿・もっとこうなったらいいな）
- 3、こうなったらいいなの中から取り組んでいきたいことのピックアップ（8月保育会議）
- 4、来年度に向けての確認（11月職員会議）

環境→園庭の環境整備

前々年度の取り組み確認と今後の計画を開始（来年度にかけて）

食育→具体的な取り組みが実施できるよう、年間食育計画を会議で作成・実施

2月の保会で来年度の食育計画作成予定

- ・KJ法でみんなと（朝夕職員や色々な人の思い）意見交換ができてよかった
- ・実施はまだなので、実現できる環境が整っていくと良い
- ・色々な人の思い・気持ちが知れ、学びになった
- ・自分とは違う考えを知る中で発見もあった
- ・みんなで保育を考える機会が持ててよかったと思う
- ・子どものやりたい気持ちを大切に、主体的な保育を心掛けることができた。
保護者や全体への共有から、子どもたちの自由な表現や友だち同士の育ちに繋がった
- ・目に見えた成果、達成感があると良かった
- ・目標や保育の方向性を文字にすることで同じ方向を向くことができるのではないかと
- ・意見交換の時間が増えた（言いやすくなった・風通しがよくなった）
- ・研修報告の質が良くなった
- ・園庭の環境整備、実際にどれぐらいやれるのか？
職員の希望を実現できる予算計画はあるのか？
- ・深掘りが大切。継続していく中で、焦点を絞って深めていけるとよい。
もしくは“今年のワークテーマ”として1つなり2つを確実に掘っていけるようにするとよい

- ⇒ 今回の取り組み以外の場でも会議など、意見を出し合う機会が増え、話し合う習慣作りのきっかけになった1年だったと感じる。年代や経験に関係なく、みんなが声を出しやすい環境を作っていくため、話し合いの環境（話し合いのグループ編成や方法など）を考えていく。
- ・時間の確保が十分にできず、じっくり話をしたり、話し合いを重ねることが難しく、1年間の取り組みとしての達成感に繋がれなかったのは残念。
 - ・来年度は園庭の環境をテーマに、話し合いを重ねていく。
“子どものどんな姿をねらい、園庭にどんな環境を求めらるか”の話し合いからスタートし、業者に相談をしながら、立地の条件や予算を具体的にすり合わせて、園庭改修計画の1年目を開始する。（園庭の改修に向けての話し合いもじっくり行っていきたい）

② 災害…災害時の対応（安全委員さんと）

- 1、園内研修①<こんな時どうする？>やるべきことを出し合って、時系列に並べる
やるべきことの共通認識
- 2、園内研修②<実際やっていける？深掘り>年代ごとのグループワーク

- もっと時間をかけて研修をしてもよかった
- 細かなところまでじっくり話し合えてよかった
- 災害への意識が広がった
- 正職だけでなく、朝夕職員（全職員）とも共有でき、同じ認識を持てるようにしたい
（グループ会だと時間がとれず、深い話まで行きづらい）
- 共有の難しさ…受け身や他人事だと同じ温度になっていかない
- “やるべきこと” を出し合い、共通理解ができたのは良かった。
- 自分が気付かないこと、やるべきことの両方に気付けた
- 年代ごとのグループワークでは、いざという時にリーダーシップをとって判断し、行動する立場であることの責任を改めて感じ、身が引き締まる思いがした。
- 各グループの話し合いの内容の差に驚いた。ベテランの先生たちはこんなことまで考えているんだと驚いた
- いざという時に備えて、落ち着いて話し合うことの大切さを感じた
- 具体的な訓練の提案が出来そう
- 今年度は災害について考えることが多かった。フローチャート活用していきたい
- ハマフレンドにも良い研修がある
- 災害時の役割分担も、保育目標同様、年度の初めに全職員で確認する必要がある
- グループ内でもやるべきことを出し合い共有したい

- ⇒ “自分が隊長になったら…”と自分ごとに置き換えてシュミレーションをしてみることで心配や不安に直面しながらも、一歩具体的なイメージができるようになった。
- 安全委員会や避難訓練の反省のため、保育会議で話をする機会が多く、朝夕担当の職員との共有ができなかったことが反省。来年度はグループ会議の活用や、朝夕会議でもグループディスカッションをする時間を作りたい。
 - 今年度の実施できなかった計画や、さらに話を深めていきたい点については、来年度も継続して行っていく。

今年度の目標・振り返りからの来年度の重点項目

- しっかり話し合いを展開できる時間の確保
- 意見を出し合える環境づくり（話しやすい環境・人間関係）
- 全職員での共有（みんなで意識を高めるための働きかけ・環境）

ご協力ありがとうございました！来年度もよろしくをお願いします。

保育室のリフトホーム

園内での自然との関わりをもっと充実させたい

園庭づくり

自然をもっと楽しめると良い

遊光ネットで快?

2F 図書コーナーの活用

園庭の改修
(乗足で抜けたら気持ちいいだろうなあ)

環境

色んな所に散歩に行きたい

子どもが遊びたいことを選択すること

おもちやや遊びがフツフツにならないよう工夫したい

子どもがやってみたいことに雪り添って挑戦させてあげたい

1人ひとりの遊びが保障できるといい

いろんな遊びを提案していろんな遊びを体験してほしい

挨拶ができる

子どもの姿

子どもたちが自分の気持ちや素直に表現できるように

よりの自己肯定感が上がってどんな自分も好きになってくれたらいいなあ

毎日少しでも多く笑顔で過ごしたい

自由に遊びを興つけられるような環境を作っておける

子どもの「やってみたい」「楽しみたい」と思うことに応えられるように(環境)

子どもの好きなことを広げられるような活動を用意していく

素材をもっといっぱい使った製作遊び

幼児の異年齢交流だけでなく乳児とも交流

いつでも自由に異年齢の遊びに取り組めるような横のつながり

異年齢で遊べる時間を作り各クラスがコーナーになって遊びを選び、関わりを広げていけたらいいな

廃材を使って何かを作る(遊び)

廃材集めて自由工作

雨の日の散歩(水・雨・自然大好き)

全員保育

製作ボックスなど自由に考えて作って遊べるようにすることで表現が広がっていく

保育の方法

おかわりのしかたをみんなが話したい!

良い悪いで伝えない自分の価値観で子の発想をとめない

保護者との関わり(家庭の様子をもっと知れる機会を!)

自分のクラスだけでなく全ての子どもを保育している気持ちを持つ

待たせないよう意識しているが...子どもたちがより伸び伸びと過ごせるようにしたい

たくさんさんの絵本を一緒に楽しみたい

クラスの子もたちのかわいかった場面などのおちよつとした話をしたい

子どもたちのズナキ イイネの共有

計画的すぎる保育⇒子どもの動きに合わせた活動

楽しいを共有

保育者の姿勢・連携

保育者同士の意見交換 保育観を知りたい! 大切にしていること等

大人の姿勢でまねる学習がなので背中を見せる

「自分は～」の主張ができるけど「～もいいね!」と相手に気持ちを受け入れられるといいな

園内研修(他のクラスをのぞいてみよう!)

もっと時間があるとおよいおんやの環境整備とか栽培など

思いやりの気づきを持つ

いっしょに遊ぼう 笑顔の毎日

～Smile and Heart～

遊ぶ大好き 食べるの大好き 元気印

自分が好き みんなも好き ハート印

③もっとこうなったらいいな

2025年度7月 グループ会まとめ

給食の先生に目の前で知る ところを見せてもらいたい

保育と調理と一緒に食音をしていきたい

・さやむきなど調理と一緒に食ハナ

・栄養士の仕分け(ゲーム)

・保護者や職員に向けたレシピの案内

収穫物を子どもたちの食べたいように調理

収穫物を子どもたちの前で調理する

調理と一緒に栽培物を見たり収穫できたらいいな

毎日本おかわりがあったら嬉しい

食事のバリエーション

食事タイムの見学
咀嚼や飲み込みの様子を見に行く

食育

簡単なおやつを一緒に作る

調理体験(3)

週1でもその日に使う食材(野菜)を回覧する

子どもたちが少いでも安心できる場所が「保育園」となるように

人の話を聞くこと(分かること)が出来るといいなあー受け取る側ももっと子どもの心に近づけたらいいなあ

遊びも食事も友だちも関心をもつことが大事 大切に「今」を感じてほしい

人が話している時に聞ける人・クラスになってほしい

やりたい! やってみたい! 気持ちを大事にしたい 失敗する事を恐れず

いろいろな遊びを提案していろんな遊びを体験してほしい

子どもが遊びたいことを選択すること

1人ひとりの遊びが保障できるといい

子どもの好きなことを広げられるような活動を用意していく

園庭の改修 (乗足で抜けたら気持ちいいだろうなあ)

環境

色んな所に散歩に行きたい

子どもが遊びたいことを選択すること

おもちやや遊びがフツフツにならないよう工夫したい

子どもがやってみたいことに雪り添って挑戦させてあげたい

1人ひとりの遊びが保障できるといい

いろんな遊びを提案していろんな遊びを体験してほしい

挨拶ができる

子どもの姿

子どもたちが自分の気持ちや素直に表現できるように

よりの自己肯定感が上がってどんな自分も好きになってくれたらいいなあ

毎日少しでも多く笑顔で過ごしたい

自由に遊びを興つけられるような環境を作っておける

子どもの「やってみたい」「楽しみたい」と思うことに応えられるように(環境)

子どもの好きなことを広げられるような活動を用意していく

素材をもっといっぱい使った製作遊び

幼児の異年齢交流だけでなく乳児とも交流

いつでも自由に異年齢の遊びに取り組めるような横のつながり

異年齢で遊べる時間を作り各クラスがコーナーになって遊びを選び、関わりを広げていけたらいいな

廃材を使って何かを作る(遊び)

廃材集めて自由工作

雨の日の散歩(水・雨・自然大好き)

全員保育

製作ボックスなど自由に考えて作って遊べるようにすることで表現が広がっていく

保育の方法

おかわりのしかたをみんなが話したい!

良い悪いで伝えない自分の価値観で子の発想をとめない

保護者との関わり(家庭の様子をもっと知れる機会を!)

自分のクラスだけでなく全ての子どもを保育している気持ちを持つ

待たせないよう意識しているが...子どもたちがより伸び伸びと過ごせるようにしたい

たくさんさんの絵本を一緒に楽しみたい

クラスの子もたちのかわいかった場面などのおちよつとした話をしたい

子どもたちのズナキ イイネの共有

計画的すぎる保育⇒子どもの動きに合わせた活動

楽しいを共有

保育者の姿勢・連携

保育者同士の意見交換 保育観を知りたい! 大切にしていること等

大人の姿勢でまねる学習がなので背中を見せる

「自分は～」の主張ができるけど「～もいいね!」と相手に気持ちを受け入れられるといいな

園内研修(他のクラスをのぞいてみよう!)

もっと時間があるとおよいおんやの環境整備とか栽培など

思いやりの気づきを持つ